

大好き!!

せいらう幼稚園

せいらう幼稚園で
「5歳児研究保育協議会」を
開催しました（6月7日）

せいらう幼稚園では、

教育目標『豊かな心をもち、いきいきと遊ぶ子ども』の育成をめざして、
時期や育ちに合わせた「環境構成や教師の援助」を工夫しながら、
『かかわる力や学ぶ力』を高める保育に取り組んでいます。

そこで、指導力の向上と小学校へのスムーズな接続に向けて、今年度初めて
小学校の先生も交えて『せいらう幼稚園・私立園・小学校合同研修会』を開催
しました。指導者には、新潟大学教職大学院 中島伸子教授をお招きしました。

今回は、5歳児の砂遊びに焦点をあてて、数日間撮影した
動画をもとに、子どもたちの学びの様子と小学校へのつながり
について話し合いました。

①せいらう幼稚園の教育について説明



②5歳児の砂遊びについて、動画をもとに、
教師の援助と子どもたちの様子を説明



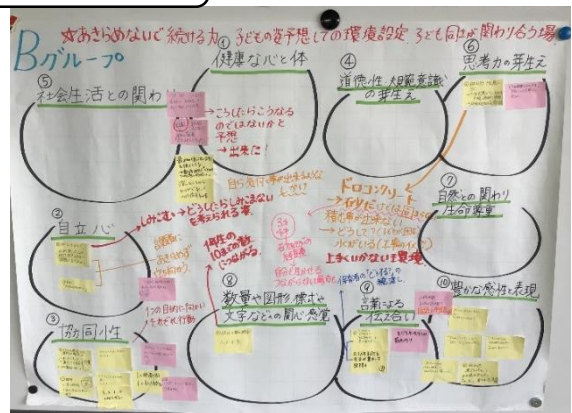
③遊びの様子から、「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」
がみられたところと、小学校へのつながりを話し合い



④ 小学校の校長先生も、園での学びを小学校にどのようにつなげていくか積極的に発言



⑤ 話し合われたことを発表し合い、意見を共有



⑥ 中島教授から、「幼小接続の大切さ」「本日の5歳児の保育での学びと育ち」についてご指導



中島教授は、朝から保育を参観し、一日せいろ幼稚園で過ごしました。



教授を給食にエスコート

「ようこそ、一緒に給食食べましょう！」

協議会で話し合われたこと（一部抜粋）

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	5歳児の砂遊びに見られた「10の姿」につながるところ	小学校のどこにつながっていくか
自立心	○砂に水がしみ込み、流れなくても、あきらめずに立ち向かう。	○小さな困難でも、最後まであきらめずにやり遂げようとする。
協同性	○数日間かけて、協力して一つの川をつくりあげる。 ○川に水を流すという目的に向かい、水を汲む子、道を付ける子と分業。 大きなタライは友達と力を合わせて運ぶ。	○ペアやチームで話し合い ○イベントや学校行事に向けて学級での話し合い。 ○友達と、グループ活動や掃除などを協力して行う。
思考力の芽生え	○繰り返し試してみる。 もっと水を流すには大きなバケツが必要 →まだ浸み込んでしまう→ブルーシートを敷こう ○流れをせき止める土手をつくろう。 砂だけでは固まらない→水がいる	○なぜ・どうしてと考える力。 ○考えを伝え合い、自分の考えをより深める。 ○生活科・総合的な学習で自分の考えを表現する。
自然との関わり・生命尊重	○砂や水の特性を活かした、本物の体験。	○生活科や理科の自然のしくみへの興味関心。
言葉による伝え合い	○子どものアイディアを担当が橋渡しして引き出す。周りの子も聞いている。 ○「どうしたら水が流れるかな」「シートを引っ張って敷けばいい」と、思いの伝え合い。	○自分の気持ちや考えを表現しようとする力。 ○友達や先生との関係づくり ○国語の物語などで心情理解・気持ちの読み取り
豊かな感性と表現	○足で感じる水や泥の感覚を味わう。 ○「白い砂」を固めて「泥コンクリート」 ○「海だ！海！」	○イメージする力。 ○体験して楽しかった思いを絵や歌や作文で表現。

子どもたちの遊びは、たくさんの学びの場です。そして、小学校の学びや生活につながっています。これからも、それぞれの活動の意義をしっかりとらえて、「豊かな心もち、いきいきと遊ぶ子ども」を育てていきたいと思ひます。

6月30日(木)には3歳児の、10月13日(木)には4歳児の、「せいらう幼稚園・私立園・小学校合同の研究保育協議会」を開催いたします。

